

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：学校建設費
令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 校地整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課施設係 電話番号：058-272-1111 (内 3561)

E-mail: c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 460,671 千円 (前年度予算額：336,208 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
前年度	336,208	0	0	0	0	0	0	216,200	120,008
要求額	460,671	0	0	0	0	0	0	335,000	125,671
決定額	460,671	0	0	0	0	0	0	335,000	125,671

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県立学校のグラウンドは、体育活動や学校行事、クラブ活動に使用するもので、健全な児童生徒の育成に不可欠な施設である。
- ・ グラウンドについても、経年により水はけ不良や表土流出、防球ネット等工作物の老朽化があるため、土壌改良等が必要な状態の学校が増えている。

(2) 事業内容

- ・ グラウンド等改修工事 460,671 千円
実施設計：高等学校 5 校 特別支援学校 1 校
改修工事：高等学校 6 校 特別支援学校 1 校
負担金：高等学校 1 校

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10/10 (県立学校の校地整備のため)

(4) 類似事業の有無

・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	27,319	実施設計(22,319)、工事監理(5,000)
工事請負費	420,108	改修工事
負担金	12,400	
事務費	844	
合計	460,671	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり

目標25 学校施設の整備の充実

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県立学校のグラウンド整備や改修を行うことで、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる学習環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				<small>（前々年度末時点）</small>		
グラウンド改修工事の実施設計	－ （－）	5校 （H29）	5校 （H30）	5校 （R1）	1校 （R2）	－
グラウンド改修工事	－ （－）	7校 （H29）	5校 （H30）	5校 （R1）	6校 （R2）	－

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

岐阜農林高等学校の防球ネットの改修工事を行った。
各務原高等学校のグラウンド整備（2期）工事を行った。
大垣東高等学校のテニスコート整備工事を行った。
大垣商業高等学校のグラウンド照明改修工事を行った。
武儀高等学校のグラウンド整備（1期）工事を行った。
岐阜本巣支援学校の駐車場整備工事を行った。
中濃特別支援のグラウンド整備の実施設計を行った。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

狭隘なグラウンドの改修や道路へのボールの飛び出し対策等を行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	県立学校で学ぶ児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供するために、グラウンド整備・改修は必須の事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	グラウンドの不具合を改善することにより、児童生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を提供している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	グラウンド改修の緊急性や必要性等を総合的に判断し、整備個所の優先順位を付けたうえで効率的に整備している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新設又は改修後 30 年を経過するグラウンドがあり、その中には水はけが悪かったり、不陸の状態のものがあるため、改修箇所は継続的にあると考えられる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 改修の緊急性や必要性等を総合的に判断し、整備個所の優先順位を付けたうえで、効率的な整備を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—